

「若手経営者等と知事との意見交換会」を開催!

公益財団法人かがわ産業支援財団では、今回で13回目となる企業経営者と知事との意見交換会を、12月19日、高松市内のホテルで開催しました。今回は、県内で活躍している、次世代の本県経済を担う若手経営者等にお集まりいただきました。意見交換会には、若手経営者等16名に加え、県からは浜田知事、安藤商工労働部長、財団からは大津理事長、さらにオブザーバーとして県内中小企業の経営者ら9名が参加し、活発な意見交換が行われました。



Contents

かがわ産業情報 21 3

2017年3月 vol.63 発行(年4回発行)

トップニュース

- 「若手経営者等と知事との意見交換会」を開催! 1
- 「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2016」
- 「かがわ発!先進的ビジネスモデル2016」入賞者が決定!! 4

特集

- ～「かがわ発!創業シンポジウム」を開催～ 6
- ～「かがわ創業後セミナー」を開催～ 6

支援事例紹介

- ・(株)まんできん 7
- ・ELAMICA (エラミカ) 7

財団の活動

- 「第51回スーパーマーケット・トレードショー2017」に香川県ブースを出展しました! 8
- 「かがわ地場産業商談会2016」を開催! 8
- 「ものづくり中国進出企業上海商談会」を開催!
- ～中国・上海市で香川県のものづくり企業の技術・製品を日系大手企業へアピール～ 9

- 「中国・ASEANにおける模倣事情と効果的な知財対策セミナー」を開催しました! 9
- 平成28年度食品加工技術講演会を開催 10
- FROM香川・RISTかがわ機器利用講習会を開催 10
- 「微細構造デバイス研究開発フォーラム平成28年度セミナー」を開催 11
- nano tech 2017
- (第16回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議)に出展しました 11
- 財団からのお知らせ**
- かがわ糖質バイオフォーラム
- 第9回シンポジウムと所属の複合糖質・糖鎖研究会が開催されました 12
- かがわ発!元氣創出企業**
- お酒を通じて伝えたい、「小豆島」の魅力。
- 唯一の酒蔵による、島ならではの発想。
- 株式会社 森國酒造 13

(株)シンキ製作所

塩津 広之 代表取締役

中小企業の中には講習等に時間や予算が取れず、伸び悩んでいる企業も多くあると聞く。若者の製造業離れや少子化により技術の伝承がますますされにくく、今後の製造業の衰退にもつながる恐れがある。社内教育についてどのようにお考えか。



知事

県高等技術学校での新卒者から離職者、転職者までの幅広い職業訓練、要望に応じたカリキュラムを設定するオーダーメイド在職者訓練や優秀技能者の表彰や各種の全国技能競技大会への参加支援等により技能の振興・継承を図っている。

(株)長峰製作所

長峰 考志 代表取締役

常に新商品の開発と新規顧客の開拓が不可欠であると考えており、中国語版、英語版ホームページによる情報収集と国内外の大きな展示会への出展を主に進めているが、展示会への出展費用がかなり負担となっている。補助金を増額していただきたい。



知事

展示会への出展支援の増額について、財団や県が主催する展示会全体の場合は理解を得られやすいと思うが、個別の出展補助については予算も限られていることから難しい。

奈良電機重工(株)

奈良 俊介 代表取締役社長

労働人口が減少する中、我々中小零細企業は人材確保に不安を感じている。最近、高校生の進学率も増え、その新規採用が難しくなっている。進学率を上げることより就職にも目を向けさせるなど、県としてどのような取組みを考えているか。



知事

これからの職業教育をどう考えていくかは、日本全体としても非常に大きな課題である。高校生をはじめ、大学生や専門学校生も含めた人材確保について考えていきたい。

(有)パイプライン

安藤 健介 代表取締役

当社の商品が、認知度のない他県でも売れているのは、マーケティング戦略が優れていることと良い取引先に恵まれていることが最大の要因である。これらを踏まえたトップセールスをしていただきたい。



知事

いろいろなトップセールスや人脈を生かしてのマーケティングは、必要だと思っている。そうしたものを活用して、県としても取り組んでいきたい。



hacomo(株)

岡村 剛一郎 代表取締役社長

海外輸出時に送った荷物が届かずに戻ってくる。また、海外ではデザインがそっくりコピーされてしまうなどのトラブルが絶えない。そこで、海外輸出に関するノウハウの少ない企業への具体的な支援体制をお願いしたい。



知事

県の負担によるジェットロ香川の職員増員や県にも海外展開支援を経験した職員の配置をしている。また、知的財産については、財団に知財総合支援窓口を設けているほか、セミナー等も開催している。今後も引き続き支援していきたい。

(株)マキタ

榎田 裕 代表取締役社長

県内には県外進学者が就職を希望する魅力溢れる企業が、不足していると感じている。県外進学者やU・Iターンを希望する県外在住者の受皿となる県内企業に対する成長支援や、新規事業の起業支援などに関して、今後の県の方針等をご教示いただきたい。



知事

ものづくり産業の支援は重要であり、財団の「創業支援センター」において創業支援にも取り組んでいるところである。県は各大学と協定を結んで、香川県へのUターンを促すセミナーなどを実施しているが、学生への香川県企業の情報提供にも力を入れていきたい。

(株)森川ゲージ製作所

森川 正英 代表取締役社長

採用について、認知度が低くとも光るモノがある会社、社員教育に熱心な会社、まじめに取り組んでいる会社にもっとスポットが当たるような支援をお願いしたい。また、BCPの面でパートナーとなる企業をご紹介いただきたい。



知事

企業見学会、出前授業、インターンシップ等を実施しているが、引き続き県内外の学生に香川県に多くの魅力的な企業があることを情報発信していきたい。また、BCPのパートナーとなる企業については、財団のよろず支援拠点にご相談いただきたい。

(株)ヤマヒサ

植松 勝久 代表取締役社長

オリーブハマチの飼料用にオリーブ乾燥葉を製造しているが、使用できる農薬が限られていることや製品価格が安いことから原料確保に苦慮している。オリーブを使用した畜産・水産商品が高級食材として認知されないと今後の広がりはない。オリーブ製品のPRに努めていただきたい。



知事

オリーブハマチの増産にはオリーブ葉の確保、生産体制、農薬の問題もあり大きな課題である。今後も、原料葉の確保に向けてご協力をお願いしたい。